平成２５年度研究成果報告書≪平成 25 年度教育課程研究指定校事業≫

都道府県・指定都市番号	公３	都道府県・指定都市名	岩手県
学校名（生徒数）	岩手県宮古市立宮古西中学校（269名）		

（本研究に係る問い合わせ先）
所在地：岩手県宮古市西ヶ丘２丁目１－１
電話番号：0193-62-4643
メールアドレス：miyanisi@rnac.ne.jp

【研究成果のポイント】

○研究課題番号：３中学校
○研究対象教科等：美術
○研究のキーワード：
・表現と鑑賞の関連を図った題材の開発　・地域素材　・個を大切にする
・よりよい指導のための日常実践　・校内作品掲示
○研究成果のポイント：
① 表現と鑑賞の関連を図った題材の開発とそれを生かした学習内容の組み立て
② 地域素材を生かした題材の開発と実践
③ 個を大切にするわかりやすい授業の工夫
④ よりよい指導のための日常実践のまとめ
⑤ 校内美術作品掲示の推進

【研究の目的，研究内容】

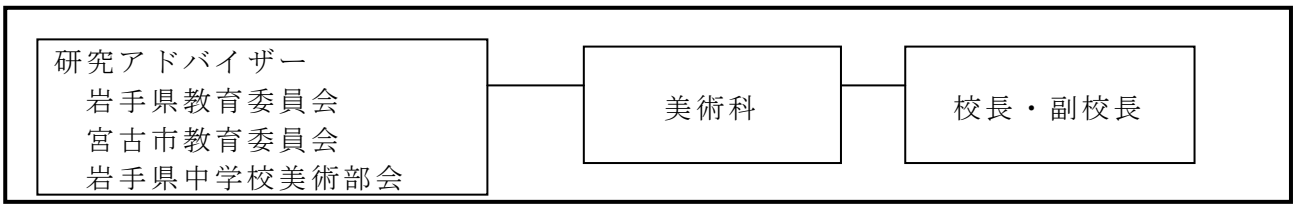
（１）研究主題

思いを深め豊かに表現する生徒の育成
～表現と鑑賞の相互の関連を図った活動を通して～

（２）研究主題設定の理由

美術の学習は，技術を学び単に作品をつくるものと捉えられることも少なくない。教科で育成する資質や能力を明確にし，生徒が思いを深めたり考えたりすることの大切さや，それを通して生まれる創造活動の喜びや楽しさを味わわせたいと考えこの研究主題を設定した。また，表現と鑑賞の関連を図った活動を取り入れて学習の効果を高め，たくましく生きる力及び他人や郷土を愛する心を育てたいと考える。

（３）研究体制



（４）１年間の主な取組の経過

平成25年度	４月	・題材の開発と３年間を見通した年間学習計画の確定 ・「美術でノート」の取組（本校オリジナル）内容の改善・取組開始 ・毎時間に使用する授業記録簿の作成・記録開始 ・板書の構造化，パターン化に向けた板書用カードの作成 ・「よりよい美術教師であるためのルーティンワーク（17条）」（本校オリジナル）の実践開始
	５月	・県内先進校の視察（岩手大附教育学部附属中学校）
	６月	・表現と鑑賞の相互の関連を図った題材「自画像」（３年）の授業公開
	８月	・２５年度授業力向上研修会での研究発表（岩手県立総合教育センターにて） ・岩手県図工美術部会サマーアートセミナーでの研究発表（盛岡市立上田中学校にて）
	９月	・表現と鑑賞の相互の関連を図った題材「南部絵暦に触れて描く私の暦」（２年）の授業公開及び研究会の実施 助言：国立教育政策研究所教育課程教育課程調査官 東良 雅人先生
	10月	・全校生徒による「ステンドアート」制作の実施（文化祭との関連） ・校内美術作品掲示交換 ・研究指定校の視察と情報交換（横浜国立大附属鎌倉中学校）

	11月　・岩手県図工美術研究会ホームページでの研究発表 ・「中学校美術Ｑ＆Ａｉｎ秋田」での研究発表（秋田大学にて） ・千葉市教育委員会派遣依頼受け入れ（授業参観11月19日～21日） １月　・冬季作品研究会への参加・実践発表（岩手大学にて） ２月　・岩手県教育研究発表会における研究発表（岩手県立総合教育センターにて）

（５）具体的な研究内容・方法，研究を進める上での工夫点等

① 表現と鑑賞の関連を図った題材や地域素材を生かした題材の実践・検証

・「自分をみつめる自画像」（３年生）の題材において，画家の自画像作品の表情などを見つめさせ自分自身を描かせることで，画家の心情に迫らせ，自分の内面を追求させることにつながる表現を導き出すことができた。

・「南部絵暦に触れて描く私の暦」（２年生）の題材において，郷土の文化財に触れさせることで，地域文化の大切さに気付かせるとともに，暦づくりを通して先人の生き方や自分自身の未来を見つめさせることができた。

② 思いを深めさせる工夫

・生徒の思いや考えが広がる題材を開発し，３年間を見通した年間指導計画を作成し実践した。

・表現と鑑賞の関連を図った学習内容や地域素材を生かした内容を効果的に取り入れながら題材や授業をデザインし，実践した。

・生徒の興味や関心を引き付ける学習内容の工夫。（消しゴム版画，漆塗りなど）

③ 個を大切にするわかりやすい授業の工夫

・生徒の思いを理解し，認め，褒めることで，美術の授業を通して自己肯定感を高め，生徒自身が自己決定し自分らしさを追求することを大切にした授業。

・生徒が学習に見通しをもち主体的に取組めるよう，板書や提示資料を工夫した。

・生徒の作品を大切に扱い，大切にさせ，全員の作品を掲示した。

④ 「美術でノート」の取組

・身の回りの美術を探させる取組によって，全ての生徒に生活と美術の関わりを気付かせることができたとともに，生徒理解を深めることにつながった。

⑤ 行事との関わりや校内美術作品掲示の工夫

・全校生徒の取組で「ステンドアート」制作など，学校行事を盛り上げる作品を制作し，掲示した。

・生徒作品の掲示を充実させ，定期的に作品交換しながら校内美術館をつくり上げるとともに，美術を通して生徒の落ち着いた生活環境を整えた。

【研究成果とその意義等】

（１）研究成果と課題

・作品解説や作品の題名などから生徒が思いを深めて表現していること，またその作品から豊かな表現につなげていることが分かった。

・「振り返りシート」の記述内容や制作後の感想文，生徒観察から，思いを深めて，その思いを表現につなげている様子を見取ることができた。

・アンケート結果から，全ての生徒が「自分の思いを生かしながら制作することができた」と答えた。

・作品を味わい、そのことをどのように表現に結びつけているかなどの生徒の思いについて、十分に理解し表現の過程で見取る方法をより具体的にしたい。

（２）研究成果の意義等

・表現と鑑賞の相互の関連を図った題材を行うことにより，生徒の豊かな表現や深く味わう鑑賞の力を引き出すことができた。

・地域素材を生かした題材を行うことにより，美術文化についての理解を深め，郷土への関心や愛情を高めることができた。

・よりよい指導のための日常実践を意識して行うことで，学習の効果や生徒の学ぶ意欲を高めることができた。

・校内美術作品掲示を充実させることで，美術に関心をもたせるとともに，活気があり，明るく落ち着いた学校環境をつくることができた。

（３）指定期間終了後の取組

・これまでの研究を深め，より多くの機会で研究発表し，普及に努める。